

## 令和5年度 第1回帯広市社会教育委員会議 議事要旨

- 1 日 時 令和5年6月28日(火) 18:30~19:30
- 2 会 場 帯広市役所 10階 第5A会議室
- 3 出席委員 橋本 功、阿部 好恵、鳴海 亮、池田 健一、出村 行敬、  
岸田 智子、川岸 仁、野原 一行、久保田 博己、佐々木 拓也、  
金谷 洋子、村上 博子  
(以上12名、敬称略)
- 4 事務局 生涯学習部長 井上 猛、生涯学習文化課長 天池 文彦、図書館長 永田  
拓也、動物園長 稲葉 利行、生涯学習文化課生涯学習係長 大橋 由幾、  
生涯学習文化課生涯学習係主任 加藤 主夫、生涯学習文化課生涯学習係  
係員 志垣 直人  
(以上7名)
- 5 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 挨拶 帯広市教育委員会 生涯学習部長 井上 猛
  - (3) 報告
    - ・会議出席報告について
  - (4) 議事
    - ①調査・研究について
    - ②連絡事項について
    - ③その他
  - (5) 閉会
- 6 議事要旨
  - (1) 調査・研究について  
資料を元に、これまでの会議において討議されてきた「調査研究報告書」がまとまり、完成版を作成したため、配布及び確認。会議後、日程を調整の上、帯広市教育委員会教育長に対し、報告書を提出する旨説明した。  
  
〈意見・質問なし〉
  - (2) その他
    - ①任期中最後の開催となるため、2年間の活動について委員に所感を伺った。  
  
○委員  
様々な施設や活動を目の当たりにできて参考になった。

他の社会教育施設の見学もしてみたい。

○委員

会議の目標が不明であったため、明確にさせていただけるともっと中身のある議論ができたと感じた。

○委員

社会教育にかかる現状を知ることができ、今後自分の組織に活かしていきたい。

○委員

会議に参加することで理解を深め、意義深い非常に良い2年間だった。学んだことを活かし、高齢者や子ども等対象を問わず、発信していきたい。

○委員長

コロナ禍の中での調査研究で、皆さん大変苦慮されたと思う。調査に行くことで、紙ベースだけで考えることの難しさを再認識したところ。

限られた時間の中で、皆さん方との意見交換が大切な時間だと感じた。こうした活動を通じ、より良い帯広市を創っていかれたらと考え、今後においても学ぶ機会を得ていきたい。

②連絡事項について

○事務局

次の会議は委員改選となるため、今後皆様の団体に委員の推薦等を依頼させていただくので、よろしく願いしたい。

〈意見・質問なし〉

③その他

○副委員長

岩内自然の村の活用について、現状を伺いたい。

○事務局

利活用にかかる公募型プロポーザルを実施したが、問い合わせはあったものの応募事業者がなく断念したところ。

以上